

第1回総合戦略検討委員会での主な意見と対応の考え方について

意見No.	意見の概要	分類	対応の考え方
1	基本目標1, 2が連動していない。医療、福祉の産業支援し、活性化させる視点が重要である。	基本目標3	基本目標3の基本的方向に3点目を追加し、プラチナベースの推進と、既存の介護・福祉事業を含め、推進に当たっては雇用の質を確保することが需要であり、国の制度充実を求めながら推進の在り方を検討していく旨、記述を追加
2	市の率先行動にある首都圏の人を旭川に就職させるという取組は、市役所だけではなく民間企業にも働きかければもっと雇用が生まれる。	基本目標2	基本目標2(3)アの地元企業の情報提供のところで、地元企業の人材確保にもつなげる旨、記述を追加
3	プラチナベースは発想として有意義。高齢者の働く環境の整備が大事である。	基本目標2	基本目標2(3)ウでは移住者の仕事についても例示で触れており、この部分に「仕事を希望する方には」と記述を追加
4	子育てで離職しないよう産休代替の制度化を図るべき。	基本目標1	基本目標1の基本的方向3点目のワークライフバランスの部分を一部修正し、意見を含め、女性が継続就業しやすい環境づくりについて地元企業に働きかける旨、記述を追加
5	公共交通についてデマンドバスの活用を推進すべき。	基本目標4	基本目標4の1点目の後段にある公共交通ネットワークの再構築の中で需要等を見極め、必要に応じて検討
6	出生率を高めることが重要であり、その一つとして地域で出会いの機会の創出を図ることが必要である。	基本目標1	基本目標1(3)イで対応
7	グリーンツーリズムの推進について明記すべき。	基本目標2	基本目標2の基本的方向5点目の一部を修正し、「夏はキャンプやグリーンツーリズム等」と追加
8	プラチナベースについて全国に先駆けて推進すべき。	基本目標2	基本目標2(3)ウで高齢者の趣味等生きがいや仕事について一部記述を追加。今後の国の動き見極めて、来年度以降必要に応じて改訂し、内容を充実させていく。
9	何より住民自ら旭川をいいまちと言えることが重要。初等教育でやれることはないか。	基本目標4	基本目標4の基本的方向に5点目を追加し、市民や企業との協働の考え方とともに記述を追加
10	出産などの希望を叶えるというより、希望を持つに至るまでが重要である。	基本目標1	基本目標1は結婚や出産については個人の意思に基づくものという原則に対し、あくまで希望する人をサポートしていくという考え方であり、この目標を端的に表現するタイトルとして現行通りとする。
11	初等教育からまちへの思い、愛着度を醸成することが必要である。	基本目標4	基本目標4の基本的方向に5点目を追加し、市民や企業との協働の考え方とともに記述を追加
12	若年層がいないといずれ高齢者も流入しなくなる。高齢者の子育てサポーターの育成などを通じて高齢者も動いてもらえるようになれば良い。	全体	考え方として一致しており、意見として受け止める。
13	基本目標は1つでいい。結婚・出産・子育て施策を重点的に推進すべき。育児休暇の長期化、男性取得などドラスティックに展開すべき。	全体	4つの基本目標は総合的に実施することが必要との意見もありこの構成は変えないが、骨子素案時の基本目標3を1に変更(旧基本目標1を3に変更)し、人口減少の最も大きな要因である自然減への対応を最初にし、施策体系を整理する。
14	出生率が回復した他国で総合的な対策を実施した。出生率の向上は簡単にはいかない。少子高齢化を受け入れながら住みやすい社会づくりが必要である。	全体	考え方として一致しており、意見として受け止める。

第1回総合戦略検討委員会での主な意見と対応の考え方について

意見No.	意見の概要	分類	対応の考え方
15	プラチナベース等もあるが、高齢者の交流の場、福祉の雇用の質を高めるなど、福祉のまちづくりも必要である。	基本目標2	・基本目標2(3)ウに交流の場を記述追加 ・基本目標3の基本的方向に3点目を追加し、プラチナベースの推進と、既存の介護・福祉事業を含め、推進に当たっては雇用の質を確保することが需要であり、国の制度充実を求めながら推進の在り方を検討していく旨、記述を追加
16	市には待機児童の解消や子ども医療の負担軽減もがんばってほしい。(近隣町より水準が低い)	基本目標1	基本目標1で包括的に対応する。
17	出生率が低いのはワークライフバランスがうまくいっていないことも要因と考える。非正規雇用が多く、将来にわたって安心できる仕事の環境ではない。	基本目標3	・基本目標3の基本的方向1点目に質の高い雇用環境の確保を追加 ・基本目標3の基本的方向に3点目を追加し、プラチナベースの推進と、既存の介護・福祉事業を含め、推進に当たっては雇用の質を確保することが需要であり、国の制度充実を求めながら推進の在り方を検討していく旨、記述を追加
18	子育て中の女性が正社員になりたくてもなれない状況がある。保育園がきまらなくて働けない、土・日曜日、祝日に子ども預かってもらえず仕事に支障が出る、児童会の時間制限も就労の妨げになっているなど、課題を改善すると住みやすいまちになる。	基本目標1	基本目標1の基本的方向1点目に保育環境の充実を追加
19	保育所等への送迎と出勤の負担、まちなかで働く場合、駐車料金の問題が生じる。	基本目標1	基本目標1の基本的方向1点目に保育環境の充実を追加
20	帰属意識を育てるボランティア活動などを通じて、まちに対する愛着を育むべき。	基本目標4	基本目標4の基本的方向に5点目を追加し、市民や企業との協働の考え方とともに記述を追加
21	子育て中にあった病院の対応について疑問を感じる。	基本目標1	子どもの医療環境の充実については、基本目標1で包括的に対応する。
22	基本目標に掲げたことは全部やってほしい。	全体	考え方として一致しており、意見として受け止める。
23	若者は企業の福利厚生も重視するが、その面からもなかなか人手を確保できない。	基本目標3	基本目標3の基本的方向1点目に質の高い雇用環境の確保を追加
24	プラチナベースの推進では福祉・介護等の研究機関を設け、福祉医療の最先端の都市として発展できないか。	基本目標2	研究機関については、プラチナベースの記述には明記していないが、基本目標3の基本的方向に考え方を示している。現時点では研究機関の誘致の考え方については福祉関係に限定せず、国の動向を見極める。
25	空港はこのままでは受け入れができない。整備などに従事する人手が必要である。新千歳空港と連携を図って取り組むべき。	基本目標4	「国際線ターミナルの新設を具体化します。」⇒「旭川空港の機能拡充について具体化します。」国際線ターミナルだけではなく、グランドハンドリング(人員、設備)等を含む、受入強化に向けた機能全体の拡充を具体化する内容に修正
26	旭川市の中では一番の企業が市役所 先頭に立ってがんばってほしい。市役所が仕事しやすい環境をつくるのが民間にとっても重要である。	全体	意見として受け止める。
27	将来を担う若者の考えを聞いた方がいい。	策定関連	市長対話集会ではしつくと意見交換を実施。若年層市民アンケートも実施済み。
28	大都会にまねのできない環境をつくるのが大事である。	全体	地域の特性を打ち出す考え方は一致しており、意見として受け止める。